

令和7年度 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会
【宇都宮大学周辺地区（第2期）・宮原運動公園周辺地区】

日時：令和7年10月21日（火）
午前9時00分～午後4時45分
場所：宇都宮市役所14階14大会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会の開催

(1) 委員の紹介，委員長の選出，会議の成立・公開

(2) 都市再生整備計画事業概要説明・・・資料1-1 資料1-2

(3) 現地視察

4 議 事

都市再生整備計画事後評価・・・資料2-1 資料2-2

5 閉 会

【配布資料】

- ・ 次第，名簿
- ・ 当日スケジュール・現地視察行程
- ・ 「宇都宮市都市再生整備計画評価委員会設置要綱」
- ・ 「宇都宮市都市再生整備計画評価委員会運営要領」
- ・ 資料

※すべて宇都宮大学周辺地区（第2期）及び宮原運動公園周辺地区の両地区について配付

資料1-1 都市再生整備計画

資料1-2 都市再生整備計画【概要】

資料2-1 事後評価シート案

資料2-2 事後評価案【概要】

令和7年度 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会 出席者名簿

日時：令和7年10月21日（火）

午前9時00分～午後4時45分

場所：宇都宮市役所14階14大会議室

委員

区分	所属・職名	氏名	出欠
学識経験者	宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授	池田 裕一	○
学識経験者	宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授	古賀 誉章	○
学識経験者	足利大学 工学部 教授	渡邊 美樹	○
学識経験者	宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授	蟹江 教子	○
学識経験者	元宇都宮市建設部長	高橋 功	○
臨時委員	城東地区連合自治会 会長 築瀬土地区画整理審議会 会長	塚原 毅繁	○
臨時委員	陽南地区連合自治会 会長 陽南地域まちづくり推進協議会 会長	谷田貝 賢司	○

関係課 ※○は各計画の取りまとめ課

	課名	出席者
○	都市整備部 東部区画整理事業課	課長 大沼 克行
○	魅力創造部 スポーツ都市推進課	課長補佐 田村 綾子
	建設部 LRT管理課	軌道施設グループ 係長 中川 誠仁
	建設部 道路建設課	サイクルシティ推進グループ 係長 鈴木 加代
		道路整備グループ 係長 杉山 恭子
	建設部 河川課	河川整備グループ 係長 高根澤 靖之
	都市整備部 NCC推進課	拠点形成グループ 係長 川村 智宏
	都市整備部 市街地整備課	企画グループ 係長 生井 亜紀
	都市整備部 公園管理課	公園整備グループ 係長 芝間 義雄

事務局（書記）

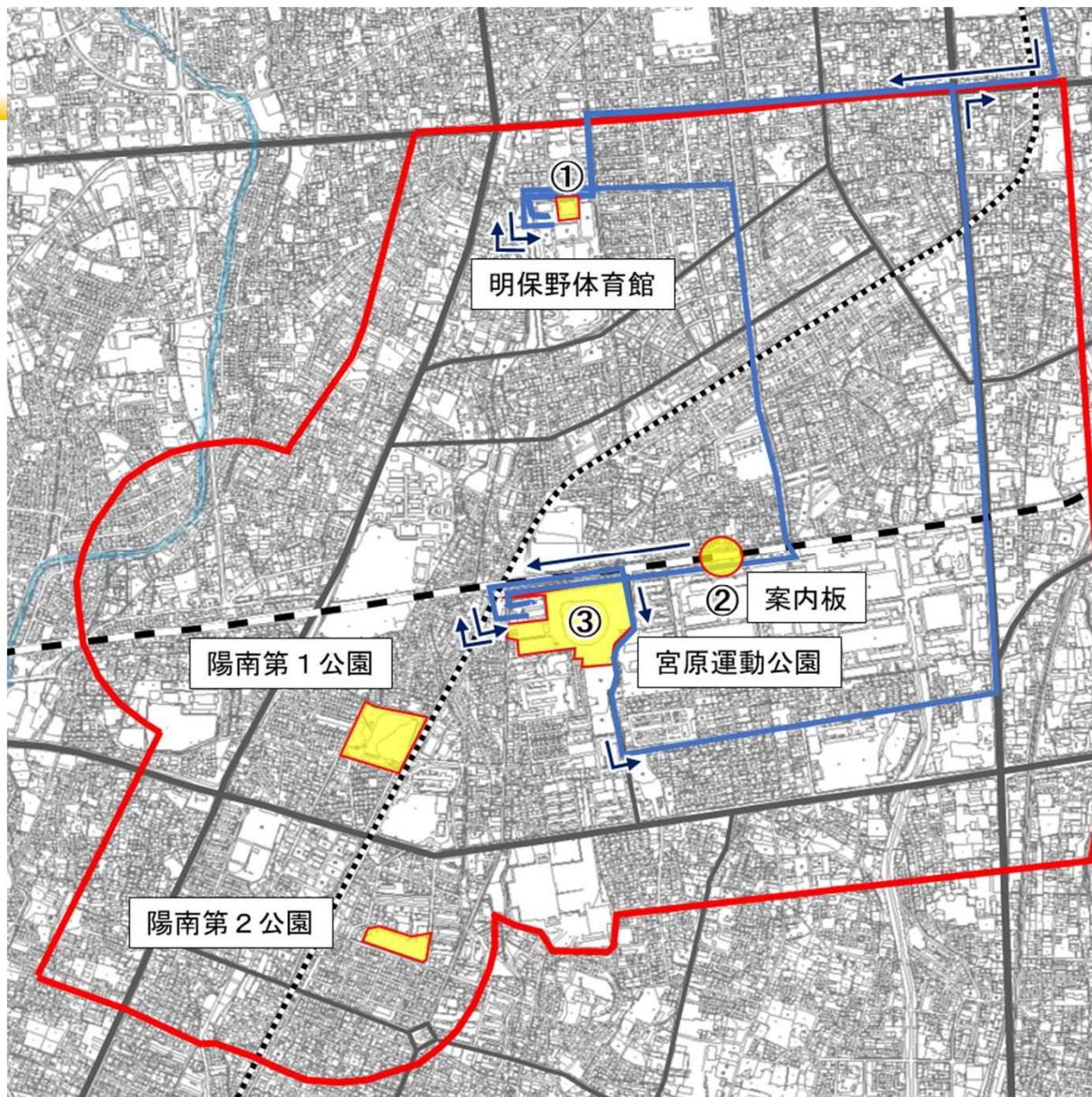
課名
都市整備部 市街地整備課




現地視察予定(1)

現地視察(1)

10:00～11:30

宮原運動公園周辺地区



	地区界
	視察ルート
	事業実施箇所

都市再生整備計画(第4回変更)

宮原運動公園周辺地区

栃木県 宇都宮市

令和7年9月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宮原運動公園周辺地区	面積	553 ha
計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度				

<p>目標</p> <p>宮原運動公園周辺における、既存ストックを活用した誰もが気軽に快適に利用できる公園づくりによる、安全で快適な住環境を有した居住地の形成</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針) ※都市構造再編集支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>本市においては、「総合計画」や「都市計画マスタープラン」において、本市のこれまでの成り立ちや、地域の歴史・文化・コミュニティなど、市内それぞれの地域が持つ個性や特性を活かしながら、今後の人口規模・構造や都市活動に見合った都市の姿として「ネットワーク型コンパクトシティ」を都市空間形成の理念に掲げ、各地域において市民の日常生活を支える様々なまちの機能が充実した拠点を形成し、その利便性が共有・利活用できるよう、拠点間や拠点とその周辺が公共交通などのネットワークで結ばれたまちの実現を目指している。</p> <p>また、これまでの都市の成り立ちや広域的役割等を踏まえ、人口減少や少子・超高齢社会に対応した都市の姿として「ネットワーク型コンパクトシティ」を都市づくりの理念とし、市内の各地域に定めた身近な拠点等において、市民の生活を支える都市機能を誘導・充実するとともに、都市構造の骨格として拠点間の機能連携・補完や他圏域との広域的連携を図る交通ネットワークの形成・強化を進め、拠点や公共交通圏などに居住を誘導・集約することなどにより、市民生活に必要な機能の充足と、持続可能な都市の実現を目指している。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 本計画地区は、都市拠点地区から南西約4kmに位置し、JR鶴田駅、東武南宇都宮駅・江曾島駅の3つの駅に隣接しているとともに、周囲には国道4号や主要地方道宇都宮栃木線が通るなど、交通利便性の高い地区であり、また図書館、文化施設、大規模小売店舗や病院、各種学校等教育施設が立地するなど生活利便性も高く、居住に適した重要な市街地である。 また、「立地適正化計画」において都市機能誘導区域(江曾島駅周辺エリア、南宇都宮駅周辺エリア)を地区内に定めているとともに、地区内全域が居住誘導区域となっており、地域コミュニティや都市機能を持続的に確保するため、本市全体として人口減少を迎えつつあっても居住を誘導し、人口密度を維持・確保していく必要がある。 これらのことから、本計画地区については、少子超高齢社会に対応し高齢者をはじめ誰もが気軽に外出でき、子育て世代にも魅力ある住環境を効率的・安定的に維持・確保していくため、既存ストックを活用した緑と憩いの拠点の整備や、誘導施設へのアクセス性の向上や、安全で快適な歩行空間・自転車走行空間の確保などによる住環境整備が求められている。 この様な中、本計画地区内を誘致圏域とする地区公園である「宮原運動公園」においては、昭和37年の開設以降、野球場を中心にテニスコートや屋外ハレーボールコート、弓道場などを有し、地域住民のスポーツレクリエーション活動を支えるとともに、地域コミュニティの促進や交流の場として活用されてきたところである。しかしながら、施設の著しい老朽化に加え、高齢化をはじめとした社会環境の変化やそれに伴うスポーツニーズの変化に対応していないことから、利用者が減少しており、従来の機能が確保されていない現状にある。 この様な状況を踏まえ、本地区における公園整備により、快適な住環境を有した居住地の形成を図るもの。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 本計画地区内を誘致圏域とする地区公園である「宮原運動公園」について、社会環境やスポーツニーズの変化に対応し、子育て世代から高齢者まで誰もが気軽に利用でき、地域住民のスポーツレクリエーション活動や健康づくりの場となるとともに、地域コミュニティの維持と多世代間交流が図られる、緑と憩いの拠点としての再整備が求められている。 住民が交流し憩うことができる身近な公園として、地区内のその他の公園整備やバリアフリー化が求められている。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市では、「第6次宇都宮市総合計画(平成30年3月策定)」において、土地利用の適正化と拠点化の促進により都市のコンパクト化を図るとともに、拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携交流のため道路や交通の「ネットワーク化」を促進し、これからの人口規模・構造や都市活動に見合った都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指している。 本地区においても、既存ストックを効率的に活用しながら市民のレクリエーションや地域コミュニティ形成の場となる緑と憩いの拠点を整備することで、良好な住環境を有した居住地形成を図ることとしている。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- 本計画地区は、鉄道駅や国県道といった交通の結節機能、大規模小売店等の商業施設を中心とした経済機能、図書館、高校、体育館等の公共公益機能を有しているなど、都市機能が集積する地区であり、高齢化の傾向も見られるが、全市的な少子化の中において、子育て世代も多く居住する地域である。
- こうした中で、本市の拠点的な公園である宮原運動公園を新しい社会環境やスポーツニーズに見合う公園に再整備し、地域コミュニティの維持・増進機能の強化を図るとともに、貴重な都市の緑を保全し、快適で良好な住環境を確保していく。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

- 市民のレクリエーションや地域コミュニティ形成の場となる緑と憩いの拠点として、安全で快適な住環境を有した居住地形成のため、市民が交流し憩うことができる身近な公園や周辺道路等を整備する。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

都市再生土地区画整理事業や市街地再開発事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

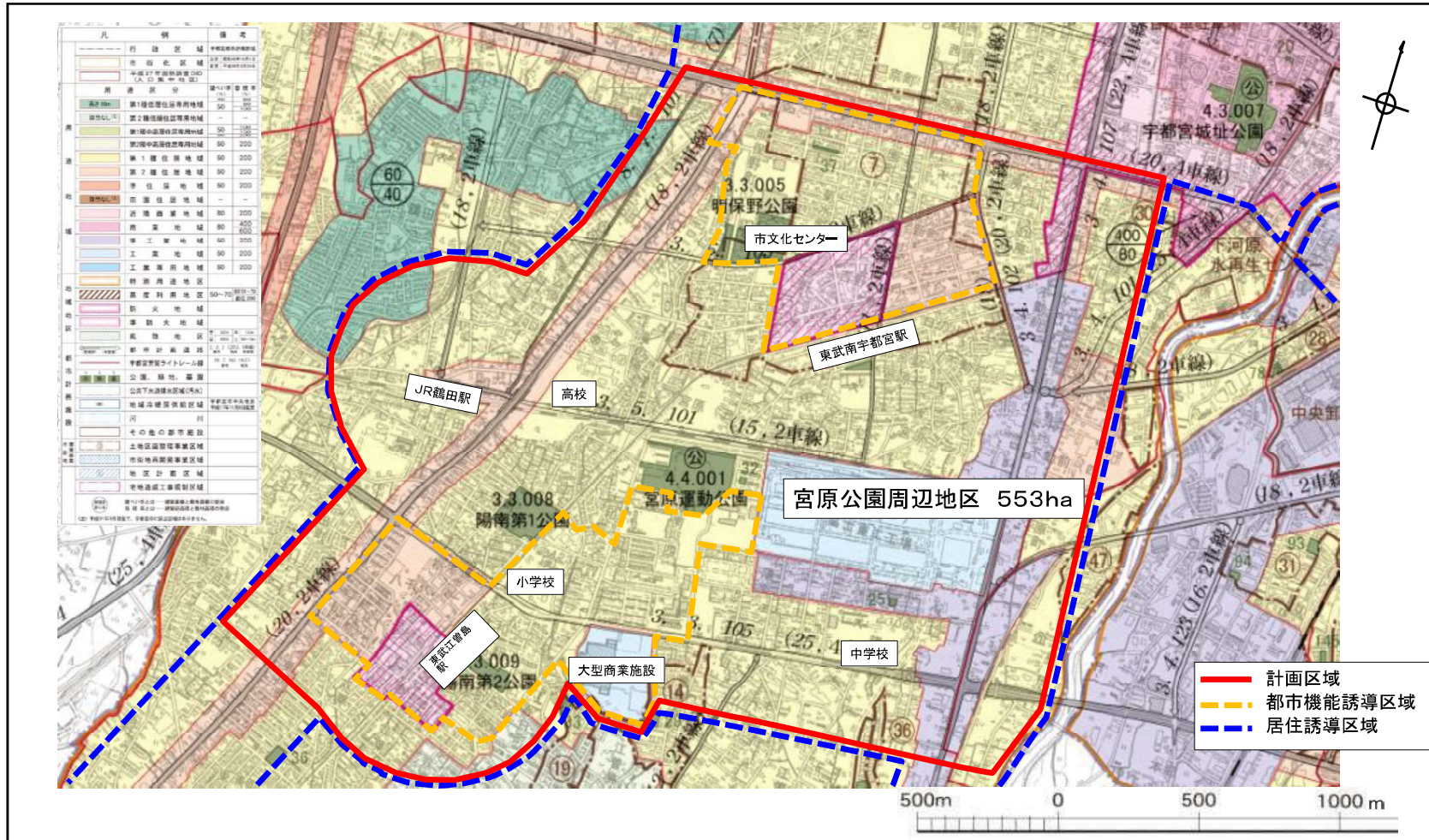
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
宮原運動公園利用者数の増加	人	公園利用者数	公園の再整備により、ニーズに即した機能が配置されることで、利用者数の増加が見込まれる。	9,661	H30	16,000	R6
宮原運動公園の利用者満足度の増加	%	公園利用者へのアンケート調査	公園の再整備により、魅力的な機能が配置されることで、利用者の満足度の増加が見込まれる。	87%	H30	90%	R6
地区内人口割合	%	本市全体に対する計画地区内の人口割合	住民の憩いの場となる公園の整備や関連事業の進捗により、良好な住環境が形成され、人口が維持されることで、地区内人口割合が増加することが見込まれる。	5.14	H30	5.21	R6

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【地区公園の再整備による地域コミュニティの維持と多世代間交流の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立地適正化計画」における都市の目標にある。生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保された魅力的で快適な都市空間が確保されるよう、社会環境やスポーツニーズの変化に対応して、子育て世代から高齢者まで誰もが気軽に利用でき多世代間交流が図られるとともに、地域住民のレクリエーション活動等の場となる公園の整備を推進することで、地域コミュニティの形成の場となる緑と憩いの拠点づくりを図る。 	<p>宮原運動公園再整備(基幹事業/公園) 宮原運動公園案内板整備(基幹事業/地域生活基盤施設)</p>
<p>【バリアフリー化等による身近な公園の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立地適正化計画」における都市の目標にある。高い利便性が得られる拠点等に居住が集約した都市及び環境にやさしい持続可能で効率的な都市運営を実現させるため、老朽化しているとともにバリアフリー化が図られていない公園トイレの改築、市民ニーズに合った多機能な遊具への更新、園内の照明施設の再配置やLED化により、市民が交流し憩うことができる身近な公園づくりを推進する。 	<p>陽南第1公園改修(基幹事業/公園) 陽南第2公園改修(基幹事業/公園)</p>
<p>【快適なスポーツ活動環境の整備によるスポーツレクリエーション活動や地域コミュニティ形成の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立地適正化計画」における都市の目標にある。生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保された魅力的で快適な都市空間が確保されるよう、地区内の市民体育館のトイレのバリアフリー化を行うことで、子どもから高齢者まで誰もが安全で快適にスポーツ活動を行うことのできる環境を整備し、スポーツレクリエーション活動や、地域コミュニティ形成の促進を図る。 	<p>明保野体育館改修(提案事業/地域創造支援事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>【官民連携事業】 ※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。</p>	

宮原運動公園周辺地区(栃木県宇都宮市)	面積	553 ha	区域	宇都宮市明保野町、滝の原1, 2, 3, 8丁目、宮原4, 5丁目、日の出2丁目、吉野2丁目、弥生1, 2丁目、新町1丁目、花房2, 3丁目、不動前1~5丁目、大和1~3丁目、大塚町、八千代2丁目、宮本町、陽南2~4丁目、鶴田町、西川田町の一部
---------------------	----	--------	----	--



都市再生整備計画事後評価委員会

都市再生整備計画 宮原運動公園周辺地区【概要版】

【趣旨】

宇都宮市宮原運動公園周辺地区において、都市再生整備計画に基づき、令和2年度から令和6年度に実施した各施策について説明するもの

令和7年10月21日

宇都宮市

都市再生整備計画 様式(1) - ①

- 1.都市再生整備計画の概要 様式(1) - ②
- 2.都市再生整備計画の目標 様式(1) - ②
- 3.目標を定量化する指標 様式(1) - ②
- 4.計画区域の整備方針 様式(1) - ③
- 5.都市再生整備計画 概要図
- 6.基幹（ハード）事業の概要
- 7.提案（ハード）事業の概要

1. 都市再生整備計画の概要

様式(1) - ②

○ 計画概要

都道府県名	栃木県
市町村名	宇都宮市
地区名	宮原運動公園周辺地区
面積	553ha
計画期間	令和2年度～令和6年度
交付期間	
交付対象事業費 (国費率)	26億4,270万円 (45.2%)

○ 整備計画の区域



宮原運動公園周辺地区
《553ha》

— 計画区域

2. 都市再生整備計画の目標 様式(1) - ②

○ 目標

宮原運動公園周辺における、既存ストックを活用した誰もが気軽に快適に利用できる公園づくりによる、安全で快適な住環境を有した居住地の形成

○ 目標設定の根拠 ※抜粋（令和2年度 計画策定時の考え方）

まちづくりの経緯及び現況

- ・ 宮原運動公園周辺地区はJR鶴田駅、東武南宇都宮駅、東武江曾島駅の3つ駅に隣接し、周囲を国道4号や主要地方道宇都宮栃木線が通るなど、交通利便性の高い地区であり、また図書館、文化施設、大規模小売店舗や病院、各種学校等教育施設が立地するなど生活利便性も高く、居住に適した重要な市街地である。
- ・ また、「立地適正化計画」において都市機能誘導区域を地区内に定めているとともに、地区内全域が居住誘導区域となっており、地域コミュニティや都市機能を持続的に確保するため、本市全体として人口減少を迎えた中であっても居住を誘導し、人口密度を維持・確保していく必要がある。
- ・ 少子超高齢社会に対応し高齢者をはじめ誰もが気軽に外出でき、子育て世代にも魅力ある住環境を効率的・安定的に維持・確保していくため、既存ストックを活用した緑と憩いの拠点の整備などによる住環境整備が求められている。
- ・ 「宮原運動公園」においては、昭和37年の開設以降、野球場を中心にテニスコートや屋外バレーボールコート、弓道場などを有し、地域住民のスポーツレクリエーション活動を支えるとともに、地域コミュニティの促進や交流の場として活用されてきたところであるが、施設の著しい老朽化に加え、高齢化をはじめとした社会環境の変化やそれに伴うスポーツニーズの変化に対応していないことから利用者が減少しており、従来の機能が確保されていない現状にある。
- ・ この様な状況を踏まえ、本地区における公園整備等により、快適な住環境を有した居住地の形成を図るもの。

2. 都市再生整備計画の目標 様式(1) - ②

○ 目標設定の根拠 ※抜粋（計画策定時（令和2年度）の考え方）

課題

- ・本計画地区内を誘致圏域とする地区公園である「宮原運動公園」について、社会環境やスポーツニーズの変化に対応し、子育て世代から高齢者まで誰もが気軽に利用でき、地域住民のスポーツレクリエーション活動や健康づくりの場となるとともに、地域コミュニティの維持と多世代間交流が図られる、緑と憩いの拠点としての再整備が求められている。
- ・住民が交流し憩うことができる身近な公園として、地区内のその他の公園整備やバリアフリー化が求められている。

将来ビジョン（中長期）

【総合計画】

- ・本市では、「第6次宇都宮市総合計画（平成30年3月策定）」において、土地利用の適正化と拠点化の促進により都市のコンパクト化を図るとともに、拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携交流のため道路や交通の「ネットワーク化」を促進し、これからの人口規模・構造や都市活動に見合った都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指している。
- ・本地区においても、既存ストックを効率的に活用しながら市民のレクリエーションや地域コミュニティ形成の場となる緑と憩いの拠点を整備することで、良好な住環境を有した居住地形成を図ることとしている。

3. 目標を定量化する指標 様式(1) - ②

○ 目標を定量化する指標

指標	定義	目標と指標 目標値の関連性	従前値 (H30)	目標値 (R6)
【指標1】 宮原運動公園 利用者数の増加	公園利用者数	公園の再整備により、ニーズに即した機能が配置されることで、利用者数の増加が見込まれる。	9,661人	16,000人
【指標2】 宮原運動公園の 利用者満足度の増加	公園利用者へのアンケート調査	公園の再整備により、魅力的な機能が配置されることで、利用者の満足度の増加が見込まれる。	87%	90%
【指標3】 地区内人口割合	本市全体に対する計画地区内の人口割合	住民の憩いの場となる公園の整備や関連事業の進捗により、良好な居住環境が形成され、人口が維持されることで、地区内人口割合が増加することが見込まれる。	5.14%	5.21%

4. 計画区域の整備方針 様式(1) - ③

○ 整備方針等 ※抜粋

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【地区公園の再整備による地域コミュニティの維持と多世代間交流の促進】</p> <p>・「立地適正化計画」における都市の目標にある，魅力的で快適な都市空間が確保されるよう，社会環境やスポーツニーズの変化に対応して，誰もが気軽に利用でき多世代間交流が図られるとともに，<u>地域住民のレクリエーション活動等の場となる公園の整備を推進することで，地域コミュニティの形成の場となる緑と憩いの拠点づくりを図る。</u></p>	<p>宮原運動公園再整備（基幹事業/公園） 宮原運動公園案内板整備（基幹事業/地域生活基盤施設）</p>
<p>【バリアフリー化等による身近な公園の整備】</p> <p>・「立地適正化計画」における都市の目標にある，高い利便性が得られる拠点等に居住が集約した都市及び環境にやさしい持続可能で効率的な都市運営を実現させるため，老朽化しているとともにバリアフリー化が図られていない<u>公園トイレの改築，市民ニーズに合った多機能な遊具への更新，園内の照明施設の再配置やLED化により，市民が交流し憩うことができる身近な公園づくりを推進する。</u></p>	<p>陽南第1公園改修（基幹事業/公園） 陽南第2公園改修（基幹事業/公園）</p>
<p>【快適なスポーツ活動環境の整備によるスポーツレクリエーション活動や地域コミュニティ形成の促進】</p> <p>・「立地適正化計画」における都市の目標にある，魅力的で快適な都市空間が確保されるよう，<u>地区内の市民体育館のトイレのバリアフリー化を行うことで，子どもから高齢者まで誰もが安全で快適にスポーツ活動を行うことのできる環境を整備し，スポーツレクリエーション活動や，地域コミュニティ形成の促進を図る。</u></p>	<p>明保野体育館改修（提案事業/地域創造支援事業）</p>

5. 都市再生整備計画 概要図

○ 事業の概要図



6. 基幹（ハード）事業の概要

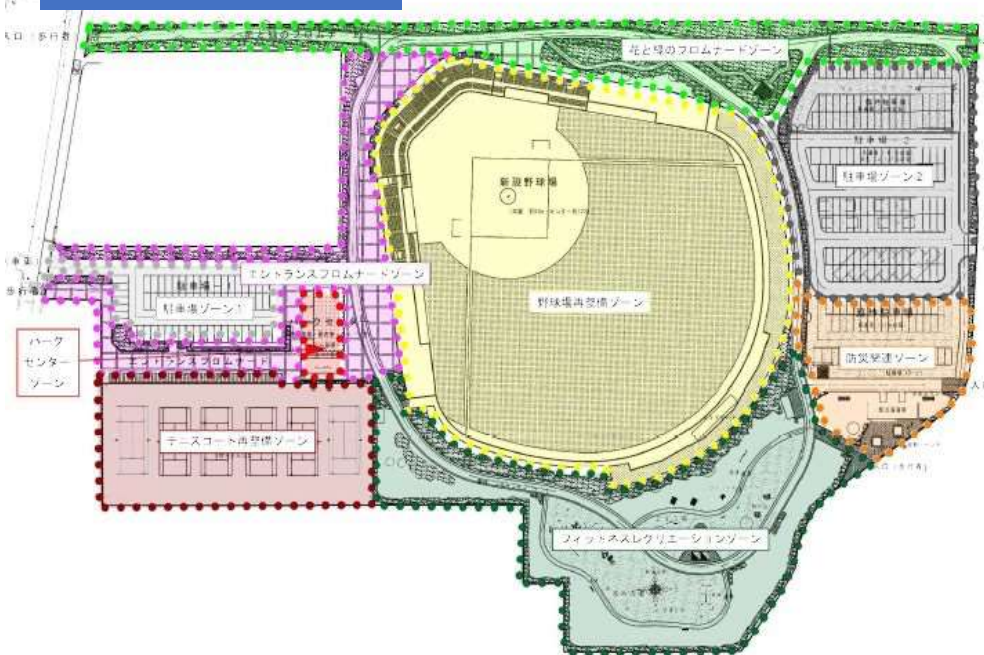
1 公園（宮原運動公園整備事業）

●事業概要

本市の拠点的な公園である宮原運動公園を新しい社会環境やスポーツニーズに見合う公園に再整備し、地域コミュニティの維持・増進機能の強化を図るとともに、貴重な都市の緑を保全し、快適で良好な住環境を確保していく。

事業費：245,370万円

●整備後平面図



●整備概要

整備箇所		整備内容	整備年
運動施設	テニスコート	クレイ舗装⇒人工芝舗装に改修 約4,000㎡（6面）	令和2年～令和3年
	野球場	新築整備 約13,000㎡（1面）	令和4年～令和5年
遊戯施設	遊具広場	複合遊具、健康遊具等整備 約6,000㎡	令和2年～令和3年
休養施設	四阿	新規整備（3棟）	令和2年～令和7年
	野外卓	新規整備	令和2年～令和3年
	ベンチ	新規整備	令和2年～令和3年
	噴水	新規整備（1基）	令和2年～令和3年
修景施設	公園内	植栽、芝生等整備	令和2年～令和7年
便益施設	屋外トイレ	新規整備（1棟）	令和2年～令和3年
	駐車場	新規整備 約8,000㎡	令和2年～令和3年
管理施設	管理事務所	新規整備 約312㎡，RC造	令和元年～令和2年

6. 基幹（ハード）事業の概要

2 公園（陽南第1公園改修整備事業，陽南第2公園改修整備事業）

陽南第1公園改修整備事業

● 整備概要

整備内容：遊具，園内灯，西トイレ整備，
防球ネット改修

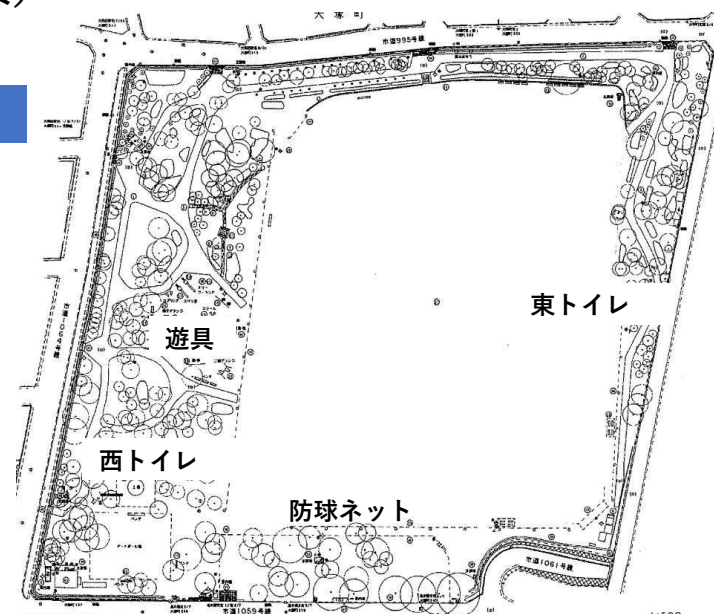
整備年：令和3年から令和4年

面積：25,107m²

事業費：5,860万円

- ・ 既存の北西トイレ・西トイレを解体し，西トイレに改築・統合
- ・ 既存の遊具を撤去し，市民ニーズを反映した複合機能を持つ遊具や健康遊具等を再設置
- ・ 園内灯LED化，防球ネット改修

● 整備後平面図



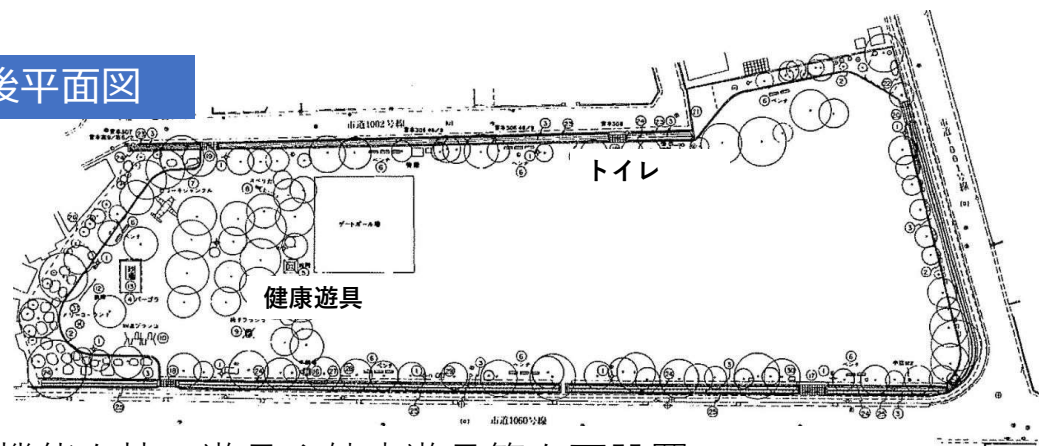
6. 基幹（ハード）事業の概要

2 公園（陽南第1公園改修整備事業，陽南第2公園改修整備事業） 陽南第2公園改修整備事業

● 整備概要

整備内容：遊具更新，園内灯改修
整備年：令和4年
面積：10,718㎡
事業費：1,760万円

● 整備後平面図



- ・ 既存の遊具を撤去し，市民ニーズを反映した複合機能を持つ遊具や健康遊具等を再設置
- ・ 園内灯の改修（LED化）7基



6. 基幹（ハード）事業の概要

3 地域生活基盤施設（宮原運動公園案内板整備事業）

● 整備概要

整備内容：宮原運動公園案内板更新
整備年：令和6年から令和7年
箇所：1か所
事業費：30万円

● 設置場所



7. 提案（ハード）事業の概要

地域創造支援事業（明保野体育館改修事業）

● 事業概要

トイレをバリアフリー化することで子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動を行うことのできる環境を整備し、レクリエーション活動や地域コミュニティ形成の促進を図る。

整備年：令和5年から令和6年

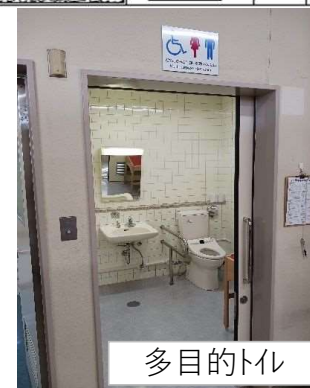
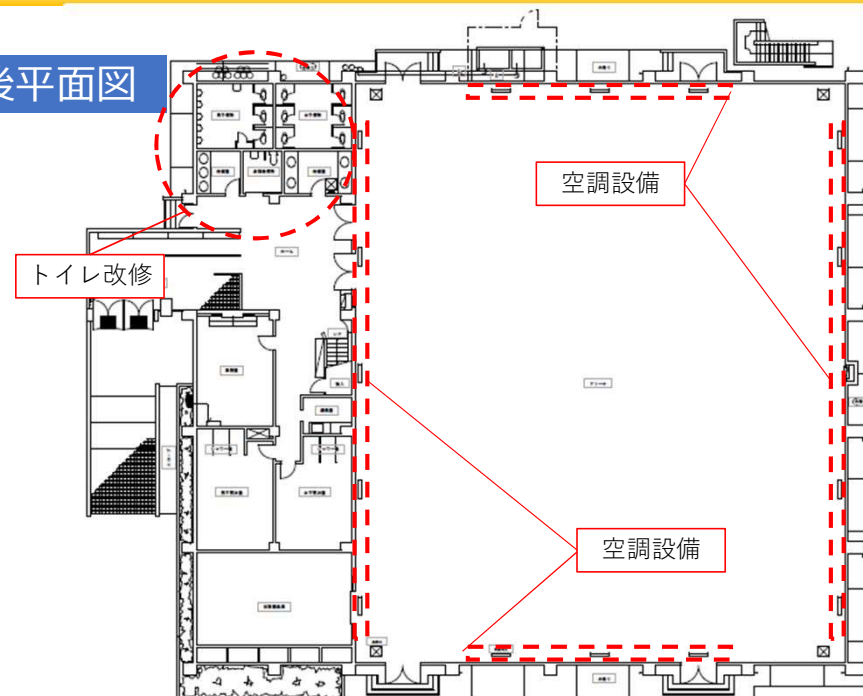
面積：1,722㎡

事業費：1億1,250万円

● 整備概要

- トイレ改修
 - 男：小5，大3（和式⇒洋式）
 - 女：大6（和式⇒洋式）
 - 多目的：大1（オストメイト，ベビーベッド設置）
- 便所内床乾式化
- 空調設置（アリーナ部分）
- シャワー室改修
- 駐車場外灯LED化
- 全館窓ガラスへの飛散防止フィルム設置

● 整備後平面図



都市再生整備計画 事後評価シート
宮原運動公園周辺地区

令和7年11月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宮原運動公園周辺地区			面積	553ha				
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	2,642.7百万円	国費率	0.452						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		公園(宮原運動公園整備事業、陽南第1公園改修事業、陽南第2公園改修事業)、地域生活基盤施設(宮原運動公園案内板整備事業)										
	提案事業		地域創造支援事業(明保野体育館改修事業)										
	計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道17号線整備事業、市道125号線整備事業、市道1823・1828号線整備事業)			効率的な事業実施のため、隣接する都市計画道路である産業通り(大和)との一体的な整備によって、整備効果が高まることから、産業通り(大和)の整備スケジュールに合わせ、他の交付金を活用して整備することとし、本計画から事業を削除			—			
	提案事業		—			—			—				
交付期間の変更		当初	—			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—				
変更		—			—			—					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	宮原運動公園利用者数の増加 ※従前値は野球場利用者を含まない(解体中)	人	9,661	H30	16,000	R6	31,620	○	あり	再整備によって、庭球場への人工芝の整備や野球場の機能向上など利用ニーズに即した機能を配置したほか、地域住民や利用者からの意見を踏まえた遊具や休養施設等の公園設備を充実したことで、施設の魅力が向上した。 また、野球場会議室を活用した様々なスポーツ教室の開催など、新たな取組等についても実施したことにより、利用者の増加に繋がった。	—	
	指標2	宮原運動公園の利用者満足度の増加	%	87	H30	90	R6	94	○	あり	再整備によって、施設の機能が向上したことに加え、地域の方々とのワークショップや関係団体との意見交換によって、地域や利用者のニーズに合った再整備を実施したことで、利用者の満足度の向上に繋がった。	—	
指標3	地区内人口割合	%	5.14	H30	5.21	R6	4.93	×	あり	再整備によって、地域住民の良好で快適な居住環境の形成やスポーツを通じた地域コミュニティ活動の充実に繋がっていると考えられるが、市全体の人口が減少している中で、計画期間中には「地区内人口割合」の目標を達成することができなかった。 一方、今回、地域防災設備を整備したことにより、公園の防災機能が向上し、地域の安全・安心な居住空間が形成されたことで、将来的な居住ニーズの高まりに寄与することが見込まれ、地域に貢献することができるため、フォローアップとして、「災害時における地域防災設備の増加」の指標を新たに設定した。	その他の数値指標1によりフォローアップ		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		施設数	2	H30	/		7	/	あり	広域避難所である宮原運動公園においては、防災バーベキュー、かまどベンチ、マンホールトイレを整備したことで、公園の防災機能が向上し、地域の安全・安心な居住空間の形成に繋がった。今後は、整備した施設を活用し、地域による防災訓練を実施することにより、地域の更なる安全・安心な居住空間の形成に繋がるものとする。 指定避難所である明保野体育館に空調設備や飛散防止フィルムを設置したことで、避難者の安全・安心な生活環境の確保に繋がった。	—	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 再整備された施設が、地域住民のスポーツ活動や憩いの場となり、地域住民の健康維持や利用者間の交流促進が図られ、快適な居住空間の形成や地域コミュニティの醸成に繋がった。 宮原運動公園に3x3バスケットボール場が整備されたことで、バスケットボールに触れられる機会が創出され、「3x3のまち宇都宮」の推進に繋がった。 明保野体育館に空調設備の設置や床改修等がされたことで、利用者の熱中症対策や施設の使いやすさなどに繋がり、年間を通じた快適なスポーツ活動環境の確保に繋がった。 宮原運動公園や明保野体育館のトイレ洋式化等によってバリアフリー化が図られ、子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動ができる場が整備されたことで、スポーツ活動の促進に繋がった。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						—		
	官民連携による取組	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						—		
持続的なまちづくり体制の構築	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						—			

様式2-2 地区の概要

宮原運動公園周辺地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
宮原運動公園周辺における、既存ストックを活用した誰もが気軽に快適に利用できる公園づくりによる、安全で快適な住環境を有した居住地の形成		宮原運動公園利用者数の増加	単位:人	9,661	H30	16,000	R6	31,620	R6
		宮原運動公園の利用者満足度の増加	単位:%	87	H30	90	R6	94	R6
		地区内人口割合	単位:%	5.14	H30	5.21	R6	4.93	R6
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 宮原運動公園については、地域住民や利用者からの要望を踏まえた整備によって、地域住民のスポーツレクリエーション活動や健康づくりの場となり、地域住民のコミュニティ形成や良好な居住環境の形成に繋がった。今後においても、整備した施設の維持管理等に努め、地域住民の憩いの場を提供し続ける必要がある。 地区内のその他の公園(陽南第1公園、陽南第2公園)については、今回の再整備でバリアフリー化が図られ、子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動ができる場が整備された。引き続き、地域住民や利用者からの要望を踏まえ、必要な修繕や整備について検討・実施し、スポーツ活動の促進をしていく必要がある。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や来訪者等の交流や施設の継続的な利活用を促進するため、イベントやスポーツ教室を開催するなど、施設の有効活用や施設の利用しやすい環境づくりに取り組む。 地区内のその他の公園(陽南第1公園、陽南第2公園)の整備については、地域住民や利用者からの要望を踏まえ、必要な修繕や整備を実施し、適切に維持管理していく。引き続き、新たな施設整備においては、個別計画の策定段階で、暑さ対策や景観・緑の創出などの観点も踏まえながら検討していく。 								

都市再生整備計画事後評価委員会

宮原運動公園周辺地区 事後評価シート（案）【概要版】

【趣旨】

宮原運動公園周辺地区において、都市再生整備計画に基づき、令和2年度から令和6年度に実施した各施策の評価について意見を伺うもの

令和7年10月21日

宇都宮市

宮原運動公園周辺地区 《事後評価》

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

1. 事業の実施状況
2. 指標の達成状況（都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況）
3. その他の数値指標による効果発現状況（当初設定した数値目標以外の指標）
4. 定性的な効果発現状況

様式 2 - 2 地区の概要

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

○ 計画概要

都道府県名	栃木県	交付期間	令和2年度～令和6年度
市町村名	宇都宮市	事後評価実施時期	令和7年度
地区名	宮原運動公園周辺地区	交付対象事業費 (国費率)	26億4,270万円 (45.2%) 内示率96%
面積	553ha		

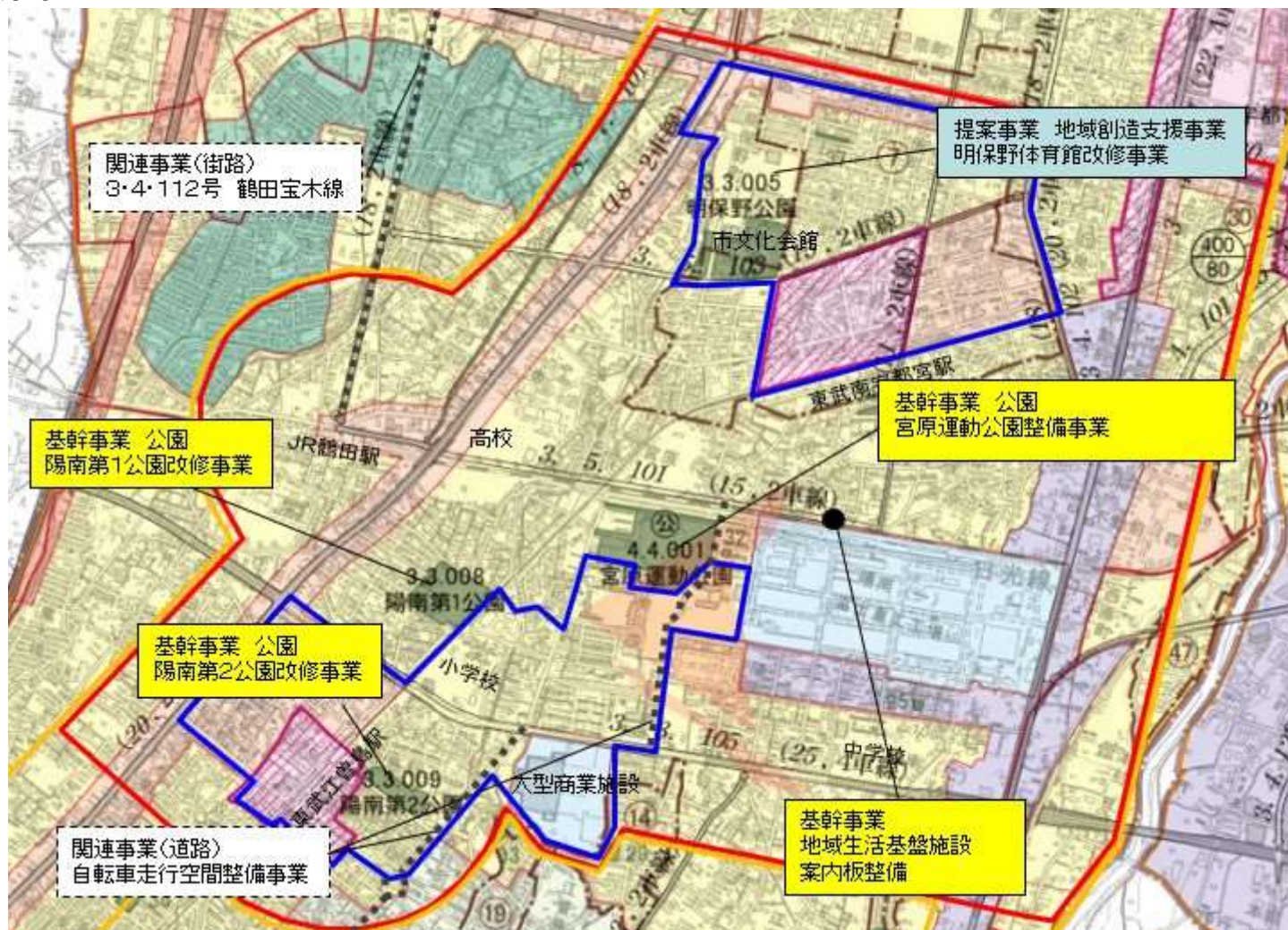
1. 事業の実施状況

事業種別	事業名 (補助率)
基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> 公園：宮原運動公園整備事業 (45%) 公園：陽南第1公園改修整備事業 (45%) 公園：陽南第2公園改修整備事業 (50%) 地域生活基盤施設：宮原運動公園案内板整備事業 (45%)
提案事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域創造支援事業：明保野体育館改修事業 (50%)

【補助率】	
都市機能誘導区域	50%
居住誘導区域	45%

様式2-1 評価結果のまとめ

○ 事業の概要図



- 計画区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

- 凡例
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

2. 指標の達成状況（都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況）

- ・ 指標 1 ～ 3 における測定方法の設定は以下の通り

指 標	測定方法
【指標 1】 宮原運動公園利用者数の増加	指定管理者から報告のあった平成 30 年 12 月末時点及び令和 6 年 12 月末時点における宮原運動公園利用者数を集計
【指標 2】 宮原運動公園の利用者満足度の増加	指定管理者が平成 30 年度及び令和 6 年度に実施した公園利用者アンケート調査を集計
【指標 3】 地区内人口割合	平成 30 年 10 月時点及び令和 6 年 10 月時点の市内全体に対する計画地域内の人口割合を算出

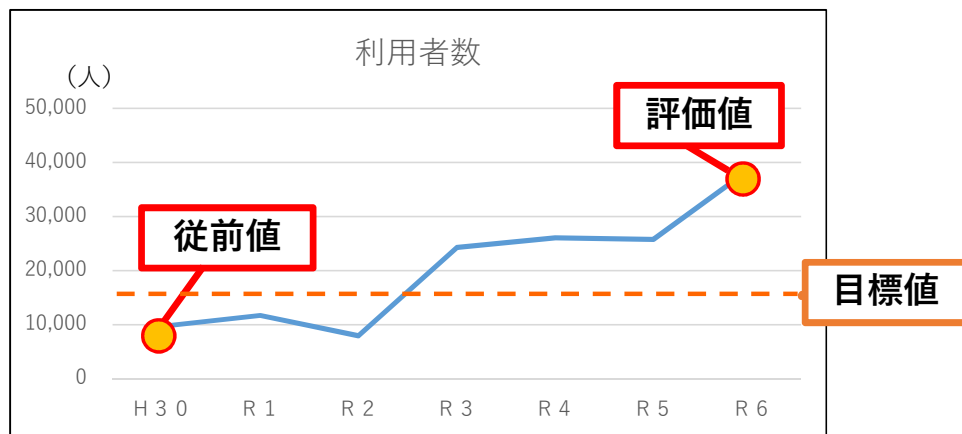
様式 2 - 1 評価結果のまとめ

2. 指標の達成状況（都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況）

【指標 1】 宮原運動公園利用者の増加

① 従前値 (H30)	② 目標値 (R6)	③ 評価値 (R6実測)	④ 達成度 (評価：○△×) ※
9,661 人	16,000 人	31,620 人	○
⑤ 効果発現要因（総合所見）			
<p>再整備によって、庭球場への人工芝の整備や野球場の機能向上など利用ニーズに即した機能を配置したほか、地域住民や利用者からの意見を踏まえた遊具や休養施設等の公園設備を充実したことで、施設の魅力が向上した。</p> <p>また、野球場会議室を活用した様々なスポーツ教室の開催など、新たな取組等についても実施したことにより、利用者の増加に繋がった。</p>			

（参考）利用者数の推移



※達成度（評価：○△×）

○…評価値が目標値を上回った場合

△…評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×…評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

2. 指標の達成状況（都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況）

【指標 2】 宮原運動公園の利用者満足度の増加

① 従前値 (H30)	② 目標値 (R6)	③ 評価値 (R6実測)	④ 達成度 (評価：○△×)
87 %	90 %	94 %	○
⑤ 効果発現要因 (総合所見)			
再整備によって、施設の機能が向上したことに加え、地域の方々とのワークショップや関係団体との意見交換によって、地域や利用者のニーズに合った再整備を実施したことで、利用者の満足度の向上に繋がった。			

(参考) 満足度の推移



様式 2 - 1 評価結果のまとめ

2. 指標の達成状況（都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況）

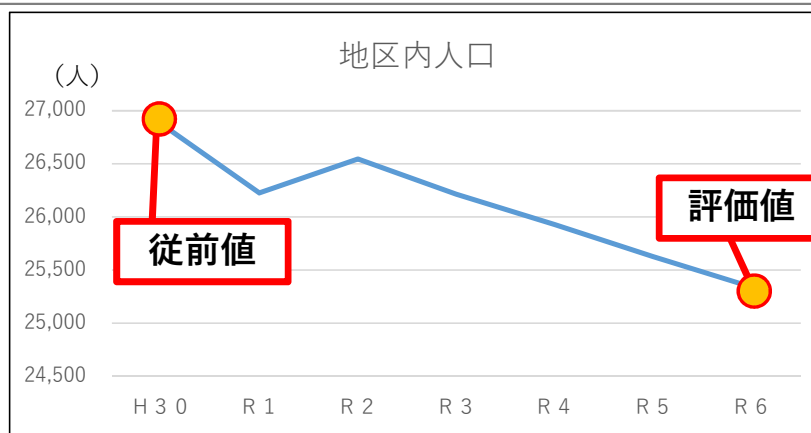
【指標 3】 地区内人口割合

① 従前値 (H30)	② 目標値 (R6)	③ 評価値 (R6実測)	④ 達成度 (評価：○△×)
5.14 % (26,877人)	5.21 %	4.93 % (25,341人)	× 今後においても改善が見込めないため、フォローアップをせず、別の指標を設定することとする。

⑤ 効果発現要因（総合所見）

再整備によって、地域住民の良好で快適な居住環境の形成やスポーツを通じた地域コミュニティ活動の充実に繋がっていると考えられるが、市全体の人口が減少している中で、計画期間中には「地区内人口割合」の目標を達成することができなかった。一方、今回、地域防災設備を整備したことにより、公園の防災機能が向上し、地域の安全・安心な居住空間が形成されたことで、将来的な居住ニーズの高まりに寄与することが見込まれ、地域に貢献することができるため、**フォローアップとして、「災害時における地域防災設備の増加」の指標を新たに設定した。**

(参考) 地区内人口の推移



様式 2 - 1 評価結果のまとめ

3. その他の数値指標による効果発現状況

その他の数値指標1：災害時における地域防災設備の増加	
従前値（H30）	評価値
2 か所 (宮原：防災備蓄庫 明保野：一般放送設備)	7 か所
効果発現要因（総合所見）	
<p>広域避難所である宮原運動公園においては、防災パーゴラ、かまどベンチ、マンホールトイレを整備したことで、<u>公園の防災機能が向上し、地域の安全・安心な居住空間の形成に繋がった。</u> 今後は、整備した施設を活用し、<u>地域による防災訓練を実施することにより、地域の更なる安全・安心な居住空間の形成に繋がるもの</u>と考える。指定避難所である明保野体育館に空調設備や飛散防止フィルムを設置したことで、<u>避難者の安全・安心な生活環境の確保に繋がった。</u></p>	



様式 2 - 1 評価結果のまとめ

4. 定性的な効果発現状況

- 再整備された施設が、地域住民のスポーツ活動や憩いの場となり、地域住民の健康維持や利用者間の交流促進が図られ、快適な居住空間の形成や地域コミュニティの醸成に繋がった。
- 宮原運動公園に3 x 3バスケットボール場が整備されたことで、バスケットボールに触れられる機会が創出され、「3 x 3のまち宇都宮」の推進に繋がった。
- 明保野体育館に空調設備が設置されたことで、利用者の熱中症対策などに繋がり、年間を通した快適なスポーツ活動環境の確保に繋がった。
- 宮原運動公園や明保野体育館等のトイレ洋式化などによってバリアフリー化が図られ、子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動ができる場が整備されたことで、スポーツ活動の促進に繋がった。

様式 2 - 2 地区の概要

○ まちの課題の変化（今後のまちづくりの方向性）

※「01【説明資料】都市再生整備計画 宮原運動公園周辺地区【概要版】」5ページの課題を受けて記載

- 宮原運動公園については、地域住民や利用者からの要望を踏まえた整備によって、地域住民のスポーツレクリエーション活動や健康づくりの場となり、地域住民のコミュニティ形成や良好な居住環境の形成に繋がった。今後においても、整備した施設の維持管理等に努め、地域住民の憩いの場を提供し続ける必要がある。
- 地区内のその他の公園（陽南第1，第2公園）については、今回の再整備でバリアフリー化が図られ、子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動ができる場が整備された。引き続き、地域住民や利用者からの要望を踏まえ、必要な修繕や整備について検討・実施し、スポーツ活動の促進をしていく必要がある。

○ 今後のまちづくりの方策（改善策を含む） ※上記「まちの課題の変化」を受けて記載

- 地域住民や来訪者等の交流や施設の継続的な利活用を促進するため、イベントやスポーツ教室を開催するなど、施設の有効活用や施設の利用しやすい環境づくりに取り組む。
- 地区内のその他の公園（陽南第1，第2公園）の整備については、地域住民や利用者からの要望を踏まえ、必要な修繕や整備を実施し、適切に維持管理していく。